

ふろしき原画—包むための絵

会 期 2015年9月19日(土)～2015年11月23日(月・祝)

ふろしきは、ただの1枚の布ですが、大きさや形に応じて自在にものを包み、包んで収納することでものを守るだけでなく、持ちにくいものでも安定して持てるようにしたり、背負ったりして運ぶこともできる、とても優れた機能を持っています。その図様は、包んだ状態での美的効果を前提として、家紋や吉祥文などの意匠が用いられてきましたが、進物として用いられるようになった頃から、広げた状態での美しさを考慮したものとなりました。

本展覧会で紹介する原画は、明治34年に創業した京都の風呂敷・袱紗(ふくさ)問屋、宮井株式会社が所蔵するものですが、宮井では顧客からの要望をきっかけとして、画家の意匠によるふろしき製作を始めました。その第1号は、京都の老舗店によって開催される“洛趣会”への出品のために堂本印象に依頼した春夏秋冬の原画でした。その後、山口蓬春や福田平八郎、棟方志功、東山魁夷など、著名な画家の原画によるふろしきを数多く手掛けてきました。

1枚の布であるふろしきがものを包むとき、その図様は立体的に変化し、広げた際の絵柄とはまた異なる表情を見せてくれます。本展覧会では、画家が描いた原画とともに、包んだ状態でふろしきがどのような表情を見せるのか、その造形変化を楽しんでいただきます。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)

会期中の休館日：9/24・28、10/5・13・19・26、11/2・4・9・16

観覧料 一般：500円(400円)、大学・高校生：300円(250円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります
- 10月28日(水)は、県民の日につき無料開放いたします

主 催 高崎市タワー美術館

共 催 天童市美術館、華鶴大塚美術館

特別協力 宮井株式会社

助 成 一般財団法人 自治総合センター

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J・COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎、日本風呂敷協会

関連事業

- 植物園でふろしき染め 10/24 10:00～
- はじめてのふろしき包み 宮井株式会社・小山祥明 10/25 10:00～
- 学芸員による作品解説会 9/19、10/4、10/17、11/8、11/21 14:00～